

来住小学校 いじめ防止基本方針

令和7年4月 更新

小野市いじめ等防止条例の基本方針

【基本理念】 いじめ等のない明るく住みよい社会の創造
～あらゆるいじめのないハートフルシティおの～

【基本目標】

いじめ等の実態を知る

いじめ等をなくす人づくり

いじめ等をなくす気運づくり

いじめ等解決の仕組みづくり

【基本課題】

・アンケート調査の実施
・あらゆる機会での情報収集

自己肯定感を育む関係作り

互いの違いを尊重する心を育み
実践する教育の実現

小野市いじめ等防止条例の周知

いじめ等防止の啓発

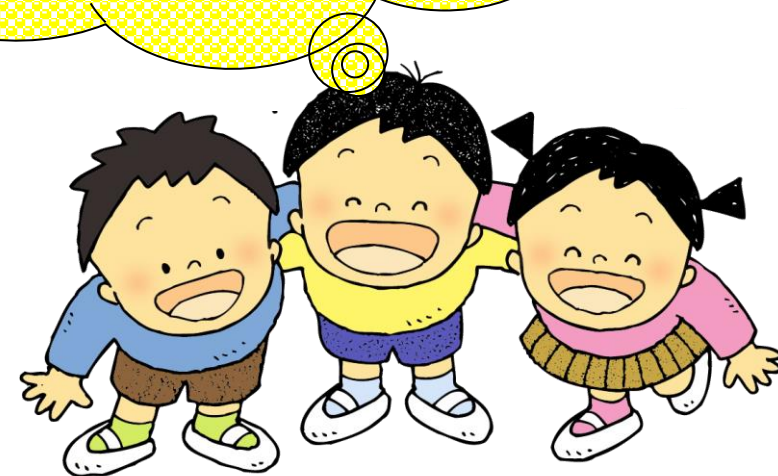
いじめ等相談体制の強化

関係機関との連携の強化

みんなでつくろう！

いじめのない

誰もが楽しい来住小学校を！



来住小学校の基本方針

【基本理念】 子どもの自尊感情を育み、いじめをなくす子どもの育成
～子どもの心の背景理解をもとにして～

【基本計画】 ◎重点課題

I 未然防止

～いじめをうまない土壌づくり、人づくり～

- ①人権教育の充実
- ②道徳教育の充実
- ③体験教育の充実
- ④特別活動の充実

II 早期発見

～子どもの変化を敏感に察知～

- ①日々の観察
- ②人間関係の把握
- ③信頼関係の構築
- ④相談体制づくり

III 早期の適切な対応

～問題を軽視せず、迅速かつ組織的に対応～

- ①正確な実態把握
- ②指導体制、方針決定
- ③指導・支援
- ④保護者との連携

IV ネット上のいじめへの対応

～最新の情報を把握し、指導力の向上～

- ①職員研修・授業
- ②早期発見・早期対応
- ③関係機関との連携

V いじめ問題に取り組む体制の整備

～チーム来住として全職員でいじめ防止・根絶を～

- ①組織体制づくり
- ②いじめ全体指導計画の作成
- ③教職員の校内研修

【具体的な取組】

I 未然防止 ＜自尊感情の育成を基盤に＞

- ・配慮を要する児童を中心に据えた温かい学級づくり
- ・子ども達と向き合う時間の確保
- ・いいとこ見つけ（通年） みんなを知ってQ集会
- ・なかよし月間 6月・11月（来住っ子ハートゆうびん局 なかよし集会）
- ・心のサポート授業（LGBTQ授業、Well-being 他）
- ・福祉体験（点字・手話・車いす・高齢者体験他）・自然学校人権プログラムの実施
- ・地域の匠の支援によるふるさと体験
- （環境学習・総合学習「田んぼの学校」・老人会の方々としめ縄づくり、昔あそび）
- ・縦割りなかよし班活動「カモ～ン来住っ子」の充実
- ・ユニバーサルデザイン（UD）による居心地のよい場所づくり
- ・『小野市いじめ等防止条例』の周知徹底
- ・親の子どもへの関わり方等、学校だよりでの啓発

II 早期発見

- ・朝の登校時 休み時間、清掃時、下校時の児童の様子に配慮
- ・「相談」「連絡」「報告」の徹底
- ・全職員による観察 情報共有 協力協働体制の確立
- ・「人権教育支援計画カルテ」の作成 対象児童と集団の成長記録
- ・子ども達が形成するグループ内の関係把握
- ・日記や連絡帳のやりとり 児童一人ひとりへの温かい声かけ
- ・先生あのおねデー 毎月1日
- ・生活アンケート（自尊感情得点調査を含む 5・6・9・11・2月 年5回）実施

III 早期の適切な対応

- ・当事者双方、周りの子ども達 個々に聴き取り、記録
- ・連絡帳（日記）の活用による教師と子ども・保護者の連携
- ・教職員全員で共通理解 指導のねらいや方針を明確化
- ・対応する教職員の役割分担 関係機関との連携
- ・いじめ解消のための具体的対策を提示
- ・共に協議連携しながら、信頼関係の回復

IV ネット上のいじめへの対応

- ・ネット使用の実態、ルール、モラルについての研修（講師招聘）や授業を実施
- ・アンケート、子ども達の会話、コミュニケーションで実態把握
- ・警察やプロバイダーと連携した対応
- ・学級・学校便り、PTA研修会 懇談会で啓発活動

V いじめ問題に取り組む体制の整備

- ・いじめ防止対策委員会（校長・教頭・生徒指導担当・養護教諭・学級担任・関係教諭・スクールカウンセラー）の設置 いじめ問題に対する調査対応
- ※ケースによっては、警察・県教委学校支援チーム・小野市教委及び部局と連携
- ・いじめ防止基本方針の策定
- ・各分掌の役割を明確化、日常的な取組の実施
- ・児童理解に関する研修、カウンセリングマインド研修、事例研修の実施
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを中心とした校内の相談体制づくり